

事業統合事例② 東部地域広域水道企業団	
事業規模等	給水人口 : 37,492 人 1日最大給水量: 19,037 m ³ /日 給水面積 : 20 km ² 職員数 : 【直営】 12 人 【第三者委託】 0 人 【委託】 21 人
スキーム等	<pre> graph TD A[東部地域広域水道企業団] --> B[大月市] A --> C[上野原市] </pre>
経緯	<ul style="list-style-type: none"> ○平成5年1月 : 一部事務組合設立、同年6月、構成市による連絡会議設置 ○平成7年2月 : 経営認可取得 ○平成10年6月 : 専門部会を設置 ○平成18年4月 : 事業統合
広域連携 (事業統合) のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害対応、危機管理能力の向上 ・ 施設の共同化〔施設統廃合〕 ・ 中長期的な管理水準の向上〔水道ビジョンの策定〕
広域連携 (事業統合) のデメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の施設管理水準の向上〔統合前の既存施設の老朽化による施設維持〕 ・ 水道料金の適正化〔更新費用の捻出に苦慮している〕
業務手法 (公民連携等)	公営を基本＋ ③ 業務委託(包括・性能発注)
対象業務 (維持管理体制)	<pre> graph TD A[経営・計画、管理(総務・人事・財務)] --> B[営業] A --> C[維持管理(運転・保全)] A --> D[更新等(設計・建設等)] B --> E[窓口] B --> F[検針・料金徴収等] C --> G[施設] C --> H[管路] D --> I[施設] D --> J[管路] </pre> <p>※水道統計より当該職員数0人により判断</p>
浄水施設 維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浄水場運転管理ほか業務委託(明電舎)